



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年(1963 年)12 月 6 日 会長：西村郁夫／副会長：樋田克史

例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：永井伸治

編集：広報会報委員会

例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com

稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>

事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）

電話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2014-2015 R.I 会長
ケイ・C.K. ホン

稲沢 RC2014～2015 年度会長方針
「輝いて未来に継ごう」

本日の例会プログラム 第 2519 回例会 6 月 3 日（水）

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰

第 1 2 回理事会（13：30） IAC 例会（17：00）

第 2518 回例会報告 5 月 27 日(水) 晴れNo. 41

☆点	鐘☆	会長 西村郁夫
☆司	会☆	吉川貴祥
☆唱	和☆	四つのテスト
☆ビジター☆		
☆会長挨拶☆		会長 西村郁夫



皆様こんにちは、心地良い季節は本当に早く 30℃を越える日がずいぶん多くなってきました。体調を整えて暑い夏を乗り越えて頂きますようお願い致します。

せんだって 5 月 16 日の土曜日に春の家族会が開催されました、ウィーン少年合唱団と東急ホテルの中華を楽しんで頂きました。たくさんのご参加本当にありがとうございました。親睦活動委員会と委員長の横井さんに感謝申し上げます。又、5 月 20 日にはむさし乃にて新会員セミナー及び研修会が開催され私達自身も大変勉強になりました。地区研修委員の山名さんクラブ奉仕委員長の池田さん、研修リーダーの岡田さん、クラブ奉仕副委員長の児島秀光さん大変お世話になりありがとうございました。新会員の皆様にはぜひロータリーの三大義務を実践して頂きますようお願い致します。ここからは私事のお話でございます。とあ

るロングランゴルフコンパで優勝致しまして、4泊5日の2名様タイ旅行ご招待を頂きまして、この5月21日から女房と行ってまいりました。ゴルフコンパ付きの旅行で2日目にタイC.Cで競技がありました。タイガーウッズのロッカーが一番目にある有名なクラブだけだそうです。ただ交通事情が悪く道のりも渋滞だらけ、朝6時に出かけたにも関わらず1時間以上もスタートが遅れてしまいました。何とかラウンドが出来ましたが帰日も大渋滞で大幅にスケジュールがくるいましてツアーのスケジュールはこなしましたが、旅行の前に色々調べて自由時間に見る所、食べる所など準備していましたが全て行けませんでした。渋滞の中色々眺めて思った事ですが、自動車、バイク、電化製品など日本製が圧倒的に多く、日本企業の進出には驚かされましたが、これからはインフラ整備など、総合的な協力が必要だと痛感致しました。そして色々考えさせられる旅行となりました。今日の朝NHKのニュースで日本がタイ高速鉄道新幹線の技術活用の覚え書を取り交わすそうです。一刻も早く進めてほしいものだと思います。ちなみに今回のゴルフコンパは優勝できませんでした。

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 樋田文裕

会員総数	53 名	前々回修正	5 月 13 日
出席	35 名	出席	37 名
会員数	(内免除者 7 名)	会員数	(内免除者 7 名)
欠席者数	18 名	マークアップ数	3 名
	(内免除者 7 名)		
出席率	76.09 %	修正出席率	86.96 %

☆ 例会 臨時変更 通知 ☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	マークアップ会場

今週のマークアップ 山脇敏夫、原武史 (B.D) 鵜飼正巳 (D2760)

☆ 例会 日程 ☆

6 月 10 日(水)12：30	6 月 13 日(土)	6 月 17 日(水)	6 月 24 日(水)
会員卓話 地区研修委員会 山名敬一 委員「地区研修委員会について」 2015-16 年度第 5 回準備理事会及び第 4 回準備委員長会議(13:30) IAC 例会(17:00)	I. D. M アイリス(名鉄グランドホテル) 受付 17：30 点鐘 18：00 登録料 ¥10,000(当日集金)	例会日変更 (13 日へ振替)	クラブ・アッセンブリー (役員退任挨拶)

Today's Information ~ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆ 報告者：幹事 永井伸治

◆パル地震災害支援基金は、合計¥59,000 集まり、5月29日にガバナー事務所に振込させていただきました。ご協力ありがとうございました。
◆ガバナー月信6月号がアップされました。ガバナー事務所HPからご覧になれます。

◆◆会員組織委員会報告◆◆

報告者：会員組織委員長 樋田文裕

○100%出席表彰者 (4月末調べ)

西村郁夫 23年 樋田文裕 9年
野々部昭男 22年 足立三千夫 7年6ヶ月
原 武史 21年 山脇敏夫 3年6ヶ月

○4月中の超過出席者

山名敬一、横井定、永井伸治

◆◆親睦活動委員会報告◆◆

報告者：親睦活動委員長 横井定

○6月の誕生日祝福

伊串惇 22日 小森章平 24日

○会員夫人誕生日

服部孝徳 夫人 詠美 様 17日
田口茂利平 夫人 紀久子 様 19日

○結婚記念日

足立三千夫 2日

◆◆ニコボックス報告◆◆

報告者：ニコボックス委員長 眞下啓二

5月末累計	2,286,100円
ニコボックス	78,000円
花	9,500円
くじ	27,000円

西村 春の家族会皆様お疲れ様でした。横井さんありがとうございます。

永井 天使の歌声に心が洗われました。家族会ご出席の皆様ありがとうございました。

横井 ご多用の中、春の家族会へのご参加ありがとうございました。

伊藤(強) 親睦活動委員の一員として春の家族会皆さんと一緒に楽しみました。感謝。

加藤(耐) 家族会、楽しい時間をありがとうございました。

山名 素晴らしい新会員研修会が出来ました。ご出席の皆様有りありがとうございました。

山名 久しぶりで永井幹事と田口さんにお目にかかりました。お元気で足が不自由を言っておられました。

永井 稲沢青年会議所の皆様にご出席頂いた喜び。

樋田(トイダ) 第20回稲沢夏まつり、是非とも成功しますよう皆様のご協力をお願いします。

山田(典) 稲沢夏まつりががんばって下さい。

永井 国府宮鉄鉾会・和楽会合同研修旅行で台湾に行つて参りました。山脇宮司、野々部さん、山田(典)さんお

世話になりました。

山田(典) 山脇さん、野々部さん、永井さんお世話になりました。

山脇 不祥事により世間を騒がせました。申し訳ありません。

伊藤(正) 加藤健司院長さんお世話になりました。早退をお詫びして。

西村 加藤耐先生ご迷惑かけました。

鶉飼(博) 眞下院長先生に御無理を言いました。ありがとうございます。

西村、樋田(ヒダ)、浅井、加藤(耐)、横井、三輪、樋田(トイダ)、服部(孝徳)、栗本、眞下、鶉飼(博)、渡邊 写真を頂いて。

林 家族会欠席のお詫び。

原 家族会、理事会、例会、準備理事会欠席のお詫び。

林、児島、横井 早退のお詫び。

◆◆2015-16年度の為の地区研修・協議会報告◆◆
全体報告

報告者：2015-16年度会長 浅井耕治

日時：2015年5月10日(日)13:00

場所：ウェスティンホテルキャッスル

本会議では、瀬戸ロータークラブ 在籍の加藤陽一 2015-16年度ガバナーの所信表明がありました。



2015-16年度 国際ローター会長のスリランカ出身のビズー教徒の、K.R.”ラビ”ラビントラン氏は、国際ローターのテーマとして、Be agift to the world、世界のプレゼントになろうとされました。加藤陽一ガバナーエクトは、日本人には、ギフト、プレゼントより、奉仕に言い換えた方が分かりやすいかもしれないとの事でした。”ローターがローターを通じて世界に奉仕しよう”

加藤陽一ガバナーの地区方針は、～友情と寛容の輪を拡げよう～です。行動指針は、

◎高潔なローターを目指し、常にバッチを着用する。

◎例会に積極的に出席し、ローター活動を楽しむ。

◎自主的クラブの運営。

◎会員増強・退会防止。

◎地区の改善・改革。

第70地区1933-34年度ガバナー村田省蔵氏は、『伊達にはつけぬ襟のバッチ』と言う文章を、ガバナー月報七信に載せているとの説明もありました。

ローター希望の風奨学金(東日本大震災で保護者を亡くした災害遺児で大学生(短大生を含む)または専門学校生に、月額50,000円(給付奨学金の返還の必要はありません)への協力要請。

2015-16年度の国際大会は、2016年5月31日～6月1日に、韓国仁川で開催されるが、ソウルホテルで、400名規模の第2760地区のパーティーを計画しているので参加して下さい。

10月31日、11月1日に地区大会を開催します。との説明がありました。

第1分科会報告

報告者：2015-16年度 副会長 山脇敏夫

他第1分科会出席者

2015-16年度 会長 浅井耕治 幹事 服部孝徳
会計 伊藤 彰 副幹事 川合正剛

テーマ：『ローターの原点に学ぶ』



浅井・服部孝・伊藤彰・横井・川合各氏と共に出席した。

次期地区加藤副幹事の進行のもとに会が進められ

各がバナーが

「ゴミを拾うよりは、捨てない人に。」

「ローターから派遣された大使との自覚。」

一人の世話にならず、世の為人の為につくし、そして見返りを求めない精神。

求められることは、超我の精神のもとに戦略計画・親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダースhipである。

等々を語られた上で

ローターの規約順守の緩さが目立つともされた。

次期地区大竹幹事より次の通りの要望があった。

② RI 会長賞の取得。

②ローターデーの実施協力。

③ ローター希望の風奨学金への支援。

④ 際大会（ソウル）への参加方。

⑤ 神戸大震災への義捐金。

講評として千田次期地区研修リーダーより、ローターアン夫々の原点に還り研鑽方を期待するとされた。

第2分科会報告

報告者：2015-16年度 親睦活動委員長 鶴飼博信

他第2分科会出席者

2015-16年度 S.A.A 池田邦雄

〃 クラブ奉仕委員長 児島秀光

〃 会員組織委員長 後藤啓行

テーマは『クラブの活性化が会員増強のみならず 退会防止は火の用心活動から』



会員増強のためには魅力ある企画、活動を通じ親睦を図り活気ある雰囲気作りでいい友をつくり、楽しめるよう心掛ける。また、火の用心活動は一人（孤独）にさせないようクラブ内で声を掛け合い、退会防止に務める。

第2分科会（クラブ運営部門）報告

報告者：2015-16年度 クラブ奉仕委員長 児島秀光



第2分科会は、会員増強が中心テーマの会場でありましたが、アドバナーの森田和昭がバナーが「クラブ奉仕について」話をされ内容に興味を持ちましたので取り上げます。森田がバナーは、名古屋RCに32才の時に入会され60年が経った

とのことであります。高齢にもかかわらずはっきりと話をされました。入会当時はRCのクラブ数も少なかったが今は数も増えて「大企業病にかかっている」ようである。それは、誰かがやるだろうといった気持ちを多くの会員

が持っているのではないかと思うと言っておられました。一方、国際ローターについて先進国と後進国のように立地条件が異なるのにRIは統一見解をつくることになる。例を挙げれば、以前メキップは前後1週間以内になっていたのを2週間以内に変更になったのは、日本のように近くに他クラブがあればメキップも楽に出来ますがRIの中には隣クラブまで500kmもかかるころうがあるとのことで、簡単に出来ないとの申し出により変更になったとのことです。森田がバナーの思いとしてはイギリスのRCは、RIから独立して独自の運営をしているとのことで日本も独立して独自の運営をすればいいとも言っておられました。また、RCの基本は、「奉仕と親睦」と言う人もいるが、奉仕は当然との考えから「親睦と奉仕」との逆の言い方が良いとも言っておられました。最後に、ポールリスが東京に来たときに、会員の質問に「いい友達がほしくてローターを作った」との回答であり奉仕は当然と言って話を終えられました。

第3分科会報告

報告者：2015-16年度 広報会報委員長 山内健嗣

テーマ『ローターを社会に認知されるための広報のあり方』



野田次期地区副幹事の進行のもと、「広報」「IT」「雑誌」の3分類でのお話がありました。

冒頭、田中がバナー（ARPIC）より、もっとローターは世間に対してアピールする事が大切であり、我々の活動が素晴らしいこと

だと認知されれば会員増強につながる一番の手段である。これまでのローターは「隠匿の美」であったが、これからはSNS等を活用し広く社会に発信すべきである。また、ローターはローターについて人に聞かれた時に、すぐに良い所を3～4個位は言えるようにしておいて欲しいとのご挨拶がありました。

「広報」については、籠橋次期広報委員長より

- ・ 広報のあり方
- ・ 地域社会への広報活動の強化
- ・ 各委員会との連携強化
- ・ ローター雑誌の購読の啓蒙

佐久間次期広報副委員長より

ローターの友と広報との関わりについて話がなされ

・ 外向きばかり力を入れるのではなく、内向きの広報を大事にすること

- ・ 各クラブがもっとローターの友を活用すること
- ・ ローターの友に投稿すること
- ・ 各クラブと地区の連携を強化し、雑誌への掲載を斡旋すること

「IT」については、尾本次期IT委員長・桐沢次期IT副委員長より

- ・ 地区がバナーホームページ製作・運営
- ・ 「2760文庫」資料集・運営
- ・ 2018年秋発行「地区10年史」

について説明がなされ、第2760地区ホームページの会員への普及や各クラブがもっと活用していただくと共に、「ガバナー月信web版」を読むようにとのお話でした。

「雑誌」については、岩瀬ローターの友地区代表委員より新年度より国際ローターの意向で「雑誌月間」が無くなりませんが、日本独自の月間として9月を「基本的教育と識字率向上月間」にあわせ「ローターの友月間」とする事になりました。また、ローターの友にどんどん投稿して活用して欲しいとのお話でした。

藤田次期がバナー補佐より講評があり閉会しました。

第4分科会報告

報告者：2015-16年度 社会奉仕副委員長 橋本嗣治



鈴村興左衛門(あま RC)次期地区社会奉仕委員長がリーダーとしての研修・協議会であった。

社会奉仕関連部門と言うことで主に環境保全と RCC (ローター地域社会共同隊)の話に終始した感がある。今後の社会奉仕活動の方向性と言う事である。それぞれの委員会を持っているクラブも有ったようであったが、活動状況は総じて今いちのようであった。稲沢クラブも途についていないのが現状である。要するに地区として今後力を入れて行きたいと言うことである。

吉原地区財団副委員長の話があり、地区補助金委員会から教育活動や人道活動に対する比較的小さな事業に資金援助をするので活用して欲しいとのことであった。又社会奉仕の地区の活動状況についてはウェブサイトを見て欲しいとの事であった。

彦坂次期がバナー補佐の講評では社会奉仕には兎に角知恵と汗と金が要るとのことであった。

第5分科会報告

報告者：2015-16年度 国際奉仕委員長 原武史



1) 国際奉仕について 次期国際奉仕委員長 杉浦 敏夫 (豊田 RC)
・ポリオ根絶のあとは識字率向上に力を注ぎたい。貧困対策に取り組むには避けて通れない。
・ネパール地震に対して寄付をお願いしたい。

・WFF (ワールド・フード + ふれ愛フェスタ) に委員会ブース出展予定している。

2) 識字率向上活動について 次期国際奉仕副委員長 堀江 英弥 (大須 RC)
・基本的教育と識字率向上に取り組む。教育支援と地域活性支援で貧困のサイクルを断ち切る。
・WFF でのチケット販売において 2000 円の内 400 円の寄付頂きカボジア支援、ポリオ根絶活動にも使わせて貰いました。

3) 補助金について 次期 R 財団副委員長 中村 公彦 (名古屋名東 RC)
・各クラブ事務局に補助金に関するアンケート調査を予定。
ポリオの次は識字率向上！ を強調されました。

第6分科会報告

報告者：2015-16年度 青少年奉仕委員長 足立三千夫



次期青少年奉仕委員長の寺本委員長をリーダーとして、青少年奉仕・インターアクト・RYRA・ローターアクト・青少年交換の各委員会によって、「青少年ファミリーのさらなる交流と認知度向上」を共通テーマに協議がなされた。青少年の育成は、将来のローターの育成、更には将来の日本を担う人材の育成という RI の取組みの中でも重要な役割を担っている。様々な課題があるが、単年としてではなく、継続的な取組みや関わり方をしていく事が重要であると纏められた。

第7分科会報告

報告者：2015-16年度会長エレクト 横井定



次期ローター財団委員長鈴木文勝様、アドバイザー代表バスターの野村重彦様の挨拶から始まりました。次にローター財団地域コーディネーター補佐深谷友尋様から期待されるローター財団の使命とローターにおける改善点を 5 つ挙げられました。

特にオンラインツールに対する認知度が低いという事でした。MY ROTARY へのアカウント登録、ローターショーケース、ロータークラブセントラルの利用を強調されました。

次に各委員会事業計画発表がありました。

2015-16 年度ローター財団優先項目と具体的目標

- ①永久にポリオを撲滅する
- ②ローター財団に対するローターの知識、参加、寄付の向上をはかる
- ③財団の補助金を 6 重点分野を通じてローターの人道的奉仕の質と影響を高める
- ④「世界で良いこと」をしてきた財団 100 年の歴史に注目し財団の功績の認識を高める。

又、ローター特別月間の内 7 ヶ月が財団に関わるテーマに変更されました。2016-17 年度ローター財団 100 周年に向けて様々な事業実現・実施のために活動してまいります。

続いて次期ポリオプラス委員長佐々木久直様より発表。1985 年 2 月ローター創始 80 周年にあたりポリオプラス計画が発表されました。当時の「プラス」とは「はしか・ジフテリア・破傷風・百日咳・結核」5 つの病気を指していましたが現在はワクチンを運搬、保存する方法、社会的動員、監視体制・政策提言等長年のポリオ撲滅活動で得られた「経験・知識・活動基盤」が「プラス」と言われています。2013-18 年度ポリオ撲滅「エンゲージメント戦略計画」が発表されております。それには 55 億ドルが必要で現在 50 億ドルは確保されており、5 億ドルが不足しています。2017 年までに不活化ワクチンの完全導入やポリオ撲滅の継続的監視の強化等で 2018 年地球上からポリオ撲滅宣言が発表されているでしょう。ポリオプラス委員会は次年度も WFF で「ポリオ撲滅」の重要性を地域社会の人々に PR し認知向上を図って参ります。そしてイント・NID (National Immunization Day) へ参加し世界中から参加するローター、地元ローター、ボランティアの皆様とポリオワクチン投与活動致します。是非ご参加お願い致します。

次に次期奨学生・学友・平和フェロシップ委員会小島哲夫委員長より発表。

ローター財団グローバル補助金奨学生は大学卒業で6つの重点分野に関係した事を学ぶ必要があります。そして条件として日本の国籍あるいは永住権を有すること、2760地区内に居住、本籍があること、2760地区ロータークラブのメンバーがあることが必要であります。奨学金の返済義務はありません。期間は大学院で1~2年です。ローター財団による留学・奨学生、GSE、VTT、ローター平和フェローへの参加者は、財団学生会への入会義務があります。ローターフェロシップとはローター財団の教育的プログラムです。平和フェローになるには、国際関係、平和、紛争解決の分野におけるキャリアを志し、すでにこれらの分野で経験を積んでいる必要があります。

ローター平和センター提携大学は世界で6ヶ国7大学です。オーストラリア(クィンズランド大学)日本(国際基督教大学)スウェーデン(ウプサラ大学)英国(ブラッドフォード大学)米国(デューク大学、ノースカロライナ大学)タイ(チュロンコン大学)です。

今年度のローター平和フェローの承認は世界中で50人日本人は2人だけでした。2002年の創設以来平和フェローの卒業生は世界中で約560名アジア諸国で150名日本人は「たった24名」です。DDFの寄贈でこれまでに600万ドル以上の貢献度を考えるともっと増えてもいいはず。身近にみえる優秀な人材のご推薦を心よりお待ちしております。

続いて次期資金推進委員長久米博明様より発表。資金推進委員会は寄付をお願いし、お金を集める委員会です。奉仕の為に金を出し奉仕の為に金を使う。世界で良いことをしよう。地区で良いことをしよう。という事で活動しています。

2015-16年度寄付目標は年次基金:一人当たり150ドル、恒久基金(ベネファクター):各クラブ1名以上、メジャードナー(大口寄付者):地区5名以上。ローターカード:保有者0クラブをなくす。地区保有者10%を目指します(2015年2月現在6.8%)ローターカードは2002-03年度より日本でも発行されました。従来のスタンダード、ゴールドに加えビジネスカード(法人カード)が出来ました。スタンダード、ゴールドは使用金額の0.3%が、ビジネスカードは0.5%が財団に寄付されます。ボランティア撲滅のための資金になります。

次に次期補助金委員長櫻井繁様より発表。地区補助金とグローバル補助金があります。地区補助金は海外、地元を問わず比較的小さな教育的活動や人道的活動を支援します。活動予算の下限額はなしで補助金50%未満、クラブ拠出金50%以上の事業です。クラブからの申請は事業実施年度の前年度1月~3月末です。グローバル補助金は大規模なプロジェクトに活用できる補助金です。(事業予算の下限額は3万ドル以上)2ヶ国以上のクラブ又は地区が参加する事業。6つの重点分野の内1つ以上があてはまる事業。長期的かつ持続的効果が測定できる事業。補助金の支給限度額は5万ドルまで申請可能。同額がR財団から支給されます。

次に次期職業研修チーム委員長福田哲三様より発表。
①専門家を海外に派遣し知識・経験を生かして現地の専門家に技術指導を行う。
②あるいは専門家を受け入れて研修を行う。
グローバル補助金を使って活動しています。今年度2014-15年度は3310地区(マレーシアボルネオ島のコタキナル)との派遣、受け入れをしました。テーマは『院内感染予防』でした。

2015-16年度は『疾病予防と治療』というテーマで3410地区(インドネシア・ジャカルタ)へ派遣します。

次に次期資金管理委員長豊島徳三様より発表。財団補助金の慎重な管理を徹底させ、適切な補助金管理についてローターを指導する役割を担っています。続いて細部の内容を次期ローター財団会計長の神谷研様が発表されました。

心構えとして補助金は「公金」です。活用に当たっては透明性が絶対不可欠です。参加資格要件として

- ①ローター財団セミナー、補助金管理セミナーの受講
 - ②「授与と受諾の条件」の理解と遵守
 - ③「クラブ覚書」(MOU)の取り交わしと実行が必要です。
- 3大義務として
- ①専用口座を設ける
 - ②帳簿の作成と書類の保管
 - ③報告書の提出

です。専用口座は無利息型普通預金が望ましく、補助金事業の報告者は10年間保管してください。報告者は事業終了後必ず2ヶ月以内に提出してください。

講評が次期ガバナー補佐朱宮新治様よりあり、最後に次期地区副幹事勝谷哲次様より閉会のお言葉で終了しました。

第8分科会報告

報告者:2015-16年度 職業奉仕委員長 樋田文裕
テーマ:『クラブの職業奉仕委員会活動とは何をすればよいのか』



まず、次期委員長とアドバイザーの挨拶に始まり各クラブの職業奉仕に関する事業のアンケートを分区ごとにピックアップして解説をされました。しかしながら、「職業奉仕」を具体的な活動に結びつけるのには、どのクラブも苦勞されているのが現状のようです。職業奉仕の理論や倫理観については概ね理解できましたが、そこから委員会活動へ具現化させる手法について明確な回答は得られませんでした。